

VOL.
96

日赤の
森

2016
January



【診療科トピックス】
進化する
腹腔鏡手術
～消化器外科～
(3面)

www.takatsuki.jrc.or.jp



新年明けましておめでとうございます。

皆様にはどのような新年を迎えられましたでしょうか。

昔は年末には各家庭で窓ふきや障子の張り替えなどの大掃除、大晦日の晩は炬燵で紅白歌合戦を家族で楽しみ、元日には屠蘇とおせち料理で正月を祝い初詣…といった風景がよく見られたものでした。時の経過とともに旅先や海外で新しい年を迎える方、日頃と変わらない時間を過ごす方など新年の迎え方も多様化してきました。多様化といえば、昨年は夫婦別姓やセクシャルマイノリティといった話題が様々な場面で取り上げられ、家族の在り方の多様性について考える機会が増えたように思います。さまざまな場面での「多様化」に対応するには、互いに相手の想いを尊重することが大切かと思われまます。

医療の現場でも長寿高齢化社会となり各人の病状・病態が複雑多様化し一律でない個々の患者様に適した医療を患者様・ご家族様と一緒に考え提供する時代に入っています。当院は全職員参加によるチーム医療を推進し、地域の他の医療機関、福祉機関等との相互連携を深め、多様で複雑な病態を示す患者様の病を治し支えるため日々努力を重ねているところです。

本年も地域の方々にはご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

平成 28 年 1 月 院長 田 嶋 政 郎

お医者さんに
聞きました

～消化器外科～



進化する 腹腔鏡手術

消化器外科副部長 恒松 一郎

◎はじめに◎

2013年度から、われわれ一般・消化器外科は平松副院長を中心にスタッフ構成を一新し、新体制がスタートしました。当科の特徴としては、食道から肛門までの消化管および肝胆膵領域の幅広い領域をカバーし、全ての領域に低侵襲手術（体に優しい手術）である腹腔鏡手術を積極的に導入しています。特に難易度の高い食道癌手術において、食道外科専門医による安全で低侵襲な手術が可能となったことは、特筆すべき進化と言えます。

◎腹腔鏡手術とは？◎

これまで胃癌や大腸癌をはじめとする消化器の手術は、腹部に大きな傷が必要でした。しかし、現在では腹腔鏡手術と呼ばれる手術方法が普及し、小さな傷を4-5箇所で行えるようになりました。胃や大腸、肝臓などの腹部の臓器は、腹腔と呼ばれる袋の中にあります。その腹腔を二酸化炭素で膨らまして、傷からカメラ（内視鏡）と小さなマジックハンド（鉗子）や切開器具を挿入して手術を行います。傷が小さくなると、術後の痛みは軽減され、体の回復も早くなって早期の退院につながります。

◎傷一つの単孔式腹腔鏡手術◎

さらに傷を少なくして、ひとつの傷だけで行う手術を単孔式腹腔鏡手術と言います。2007年に米国から始まり、胆石症や急性虫垂炎を中心に行われています。従来の方法では2-3箇所の傷が必要でしたが、臍の約2cmの1つの傷だけで手術することによって術後の傷跡はほとんど目立ちません。

◎胃癌や大腸癌の手術も傷を少なく◎

単孔式腹腔鏡手術の技術を利用して、当院では胃癌や大腸癌などにも、以前より傷を少なくした手術を行っています。これを減孔式腹腔鏡手術と言います。臍の傷に加えて2mm径程度の細径鉗子を用いることにより、一般的な腹腔鏡手術と同等の操作性を確保しながら、複雑な手術も安全に行えます。

◎立体映像で手術する3D内視鏡◎

腹腔鏡手術は通常、内視鏡で撮影した平面映像をモニターで見ながら手術を行います。開腹手術と比べて立体感や奥行き感がないことが、腹腔鏡手術の大きな弱点でした。しかし、当院では2014年4月より3D内視鏡を導入することにより、その弱点を克服しました。2つの目を持った3D内視鏡からの映像を特殊なメガネを装着することにより、奥行き感のある立体映像での手術が可能となりました。分かりづらい解剖や高度な癒着で腹腔鏡手術が困難であった症例でも、解剖の把握が正確となり、縫合・結紮といった複雑な操作も容易に行えるようになりました。

◎腹腔鏡手術のさらなる進化◎

医療技術の進歩は日進月歩で、腹腔鏡手術も進化を遂げています。当院でも、上記の単孔式手術や3D内視鏡のような新しい技術を導入し、実績をあげています。また、それらの新しい技術を組み合わせることにより、さらなる腹腔鏡手術の進化にも取り組んでおります。一方、医療の質は「患者満足度」と「安全性」、「経済性」という3つの要素で構成されると言われています。我々は、進化する腹腔鏡手術においてもより質の高い医療を提供していきたいと考えております。



1. インフルエンザから身を守るために！

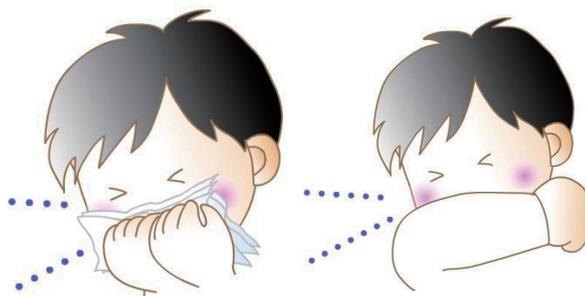
咳エチケットとこまめな手洗いを心がけ、
感染の機会を減らしましょう。

空気が乾燥する冬はウイルスにとって最適な環境となるため感染力も強くなります。咳やくしゃみの飛沫は空気が乾燥していると小さくなり遠くへ飛んでいくため、直接飛沫を吸い込んだり、ドアノブや手すりなどの環境から手を介して感染することもあります。

●咳エチケット



咳・くしゃみが出るときは
マスクを着用し口と鼻を
覆いましょう



咳・くしゃみが出るときは顔を
そむけるかティッシュでおさえ
ましょう



使用したティッシュはご
み箱に捨て手を洗いま
しょう



2. インフルエンザから 入院患者さんを守るために！

病院からのお願い

- ・入院患者さんの面会に来られた時、帰られるときは病室の入口に設置されているアルコール手指消毒剤をお使いください。
- ・発熱、咳、くしゃみ、関節痛、全身倦怠感などの体調不良や7日以内にインフルエンザにかかれた方との接触がある方、高校生以下の方は面会をご遠慮ください。

ご自身はインフルエンザに罹っていなくてもウイルスを持ち運んでいることがあります。免疫力の低下した患者さんに感染させてしまうこともありますので、ご理解・ご協力の程よろしく申し上げます。

※私たちは、北摂四医師会感染対策ネットワークを通じ、地域ぐるみで感染対策に取り組んでいます。

患者支援センターの ご紹介 **第3回**

「患者支援センター」という部門について、「医療福祉相談」・「訪問看護ステーション」とご紹介してきました。病気になると誰もが、これから何をどうしたらいいのか？どんなことがあるのだろうか？と色々な心配事や不安をもつと思います。

①だれに相談するの？

②いつ相談すればいいの？

③何を聞けばいいの？

④どこへ行けばいいの？



……などたくさんあると思います。そんな時に「患者支援センター」へお越しください。患者様のお気持ちに少しでも寄り添えるよう、スタッフ一同がご相談に応じます。また、当院でのお困り事だけでなく、地域で生活していくのに利用できる制度についてもご相談いただけます。当院の「患者支援センター」は、皆さまの“よろず相談所”でありたいと願っています。

また、「**患者支援センター**」には

◎入院のお手伝い、診断書の受付など担当する…**入退院支援係**

◎地域の医療機関からの紹介患者様のお手伝いをする…**地域医療連携係**

という、部署もあります。

「入退院支援係」の業務は

- 入院の手続き
- 診断書などに書類受付
- 患者相談の窓口 など

いつも患者様がころよく当院での診察、治療がうけられるように事務的な業務サービス提供をしています。



「地域医療連携係」の業務は

- 紹介患者様の受診予約・検査調整
- 地域の先生方からの緊急入院・受診調整、当院診療についての問合せ
- かかりつけ医の紹介
- 研修会などの開催と企画 など

直接患者様と接するのは、当院へ来院されてからになりますが、地域の先生方といつも連絡を取り合って、情報交換をしながら「どうすれば患者様が安心して当院での治療が受けられるのか…?」「患者様にやさしい病院になるには、どうしたらいいか…?」をいつも考えながら、スタッフは対応しています。

これからも「患者支援センター」は、療養生活支援・総合相談・地域医療連携の3つの部門から患者支援サービスの提供と連携を行ってまいります。

当院との地域医療連携機関として登録をいただいている田辺先生をご紹介します。今後も田辺先生との連携を深め、地域住民の皆様の健康を支えていきたいと思っております。

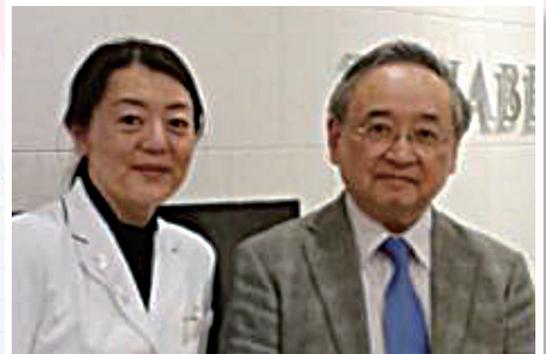
◎院長 田辺 晃子 先生からのメッセージ

当院では、産婦人科を中心とした泌尿器科・女性内科のプライマリーケアとアンチエイジングケアで女性の皆様をトータルサポートいたします。地域医療への貢献と、専門知識に裏づけされた確かな医療の提供をクリニックの基本理念にすえ、地域の皆様に信頼されるホームドクターを目指して参ります。専門的なことはもとより、初歩的な質問・疑問まで皆様の悩み・不安を解消いたします。また、院長をはじめスタッフは全員女性です。どうぞお気軽にご来院ください。

- 日本産婦人科学会 専門医
- 日本女性医学学会 認定医師
- 母体保護法 指定医
- 日本抗加齢医学学会 専門医

登録医の
先生のご紹介

スタッフ全員女性で、
女性の健康をトータルサポート



田辺院長(左)と当院玉田副院長(右)

田辺レディースクリニック

院長 田辺 晃子先生

高槻市白梅町 4-13
ジオ高槻ミュージズ EX 4F
TEL: 072-668-4651

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:30	○	○	○	/	○	○
16:00 ~ 18:00	○	○	○	/	○	/

【休診日】

木曜日・日曜日 / 祝日

登録医療機関のご紹介

おおぎたに内科・胃腸内科

院長 扇谷 大輔先生

住所: 高槻市宮田町1丁目29-18 TEL: 072-668-6705

丁寧な診察と検査、的確な診断で
信頼されるかかりつけ医へ。

◎院長 扇谷 大輔 先生からのメッセージ

平成15年に大学を卒業後、主に市立枚方市民病院(現市立ひらかた病院)にて内科・消化器疾患の診療・指導をしてきました。市立ひらかた病院在籍中はさまざまな救急疾患と外来・病棟管理を経験し、消化器領域では緊急内視鏡を含め、あらゆる消化器検査・治療をしてきました。

このたび、日常の健康管理を含め内科一般と専門である消化器内視鏡検査を中心に地域医療に貢献したいと思い、クリニックを開業することになりました。一人一人の患者様の訴えに耳を傾け、丁寧な診察と検査、的確な診断に努めます。また、皆様に信頼され、気軽に相談できるかかりつけ医になれるよう努力してまいりますので、よろしく願い申し上げます。

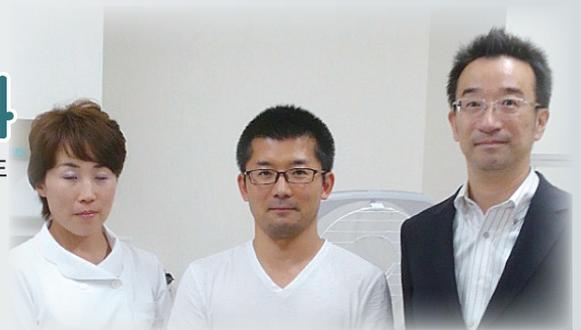
- 日本内科学会認定内科医
- 日本消化器病学会認定専門医
- 日本消化器内視鏡学会認定専門医

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
16:00 ~ 18:00	○	○	/	/	○	/

【休診日】

水曜日午後、木曜日午後、土曜日午後
日曜日 / 祝日



扇谷院長(中央)と当院消化器科神田部長(右)



未来の医師の君たちへ

ブラックジャックセミナー開催!

未来の外科医たちが手術と検査を体験。

10月24日(土)、当院で中学生・高校生を対象に医療体験セミナー(ブラックジャックセミナー)を開催しました。

今回で2回目となるこのセミナーは、昨今、医学生が外科医になるのを敬遠しがちで外科医の数が増えないという現状に目を向け、中高生の時から医療に興味を持ってもらい、将来その道に進む人が医療人を目指す為の意識付けになれば良いという思いからジョンソン・エンド・ジョンソン(株)とともに当院で共催したものです。

24名の中学生が参加され、手術着に着替えた後、各ブースでの体験が始まります。各ブースでは、医師や看護師が待機し、参加者一人一人に付いて手ほどきを行います。

本物の糸や針(鈍針:先端が丸くなっている)を使用した「糸結び」や「皮膚縫合」技術体験、手術で使用する「腹腔鏡」や3D内視鏡の操作体験もあります。モニターを見ながらの手術体験は遠近感が取れず、参加者達は苦戦していました。「超音波メス」でお肉を切開したり(勿論、お肉は美味しく頂きました)、お人形(実際に医師が練習で使用するリアルで精度の高い人形)を使っの「胃の内視鏡検査」や「大腸の内視鏡検査」も体験しました。

体験終了後の修了式では、平松副院長から英語のスピーチで写真とハードカバー付きの修了証が参加者全員に手渡されました。

(社会課 濱田 健司)



※ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社メディカル カンパニーは、深刻な医師不足が懸念されている中、2005年より、実際に治療現場で使用される医療機器を用いた手術体験セミナーを全国病院と共催で実施しています

現在は、「ブラック・ジャック セミナー」として青少年の手術体験機会を提供することで、より多くの学生たちが夢と希望をもって医療従事者を目指してくれるとともに、これをきっかけとして医師になる青少年が増えるという期待をもって、将来の日本の医療に貢献していきたいと考えています。

《藤岡 慎平》

全疾患を想定しての診察に、
緊張とやりがいの1ヶ月。



徳之島の人と自然との良き交流。

今回、初期研修の一環である地域医療研修として、鹿児島県徳之島にある宮上病院で1ヶ月の研修を終えたので研修成果を報告させていただきます。

徳之島は鹿児島島の南西に位置する奄美群島の一つであり、人口約3万人、車で3時間あれば島を一周出来る程の大きさです。島は海に囲まれ、犬田布岬やムシロ瀬と呼ばれる景観の美しい観光名所、トライアスロン実施の地としても有名ですが、観光客も多く訪れ最も盛り上がりを見せるのが闘牛です。開催は2ヶ月に一回程度で、主にGWやお盆などの連休時に開催されるのですが、今回シルバーウィークが重なったので闘牛を観戦することが出来ました。牛同士がぶつかり合う時の迫力は圧巻でした。子供から高齢の方まで沢山の方が楽しむ姿も印象的でした。休日は病院のスタッフに島のバレーボール大会やバーベキューに誘って頂き、島の方々との交流もとても良い思い出となりました。

外来・手術・訪問診療で多忙な毎日。

研修させて頂いた宮上病院は、徳之島にある2つの総合病院のうちの1つであり40床の病床を持つ病院です。常勤医は3人ですが、各科の専門の先生が本土から日帰りなどで応援として来られています。手術も行われており、応援で来られた外科医の先生が、1人で麻酔をかけて手術もされていました。

研修は常勤の先生方と同じ様に外来を行い、空いた時間で病棟管理を行います。手術症例が発生すれば、手術にも入ります。また、週に1度は訪問診療として島中の寝たきり患者さんを診察に行きます。予想していたよりも遥かに多忙でありましたが、非常に充実した毎日でした。本土での研修は病棟管理が中心ですが、宮上病院では外来診察中心の毎日でした。専門医が常にいるわけではないので、様々な症状の患者さんに対応しなくてはならず、心筋梗塞が来たら次の患者はギランバレー症候群であったりと各科にとらわれず全疾患を常に想定して症状を聞かなければならない外来診察は緊張感のある毎日でした。

手技に関しても積極的にさせて頂き、侵襲性の強い手技(縫合やCV挿入など)も多くの経験をさせて頂きました。また、訪問診療では患者さんの自宅に伺い、問診と身体所見から異常所見を発見しなければならず、設備のない中での診察は非常に難しく、まだまだ臨床能力の足りなさを痛感させられることもありました。

最後に宮上病院では宮上先生を初め多くの方々に温かく迎えて頂き、このような機会を与えて頂きました高槻赤十字病院に深く感謝致します。



高槻中学校出張授業 ～金子医師の食育講演～

11月16日(月)と19日(木)の両日、高槻中学校において当院の金子糖尿病・内分泌・生活習慣病部長が講師となり、3年生を対象とした「食育出張授業」を道端良子先生のご協力のもと、開催しました。

金子医師は、「病気になってからではなく、若い10代のうちに食に関する知識を持ってください。どのような仕組みで血糖値が変化するのか考えてください。健康で生活し続けるためには食生活において血糖値を急激に上げない食事が大切です。血糖値が急に上がればインスリンを分泌する膵臓のβ細胞の機能が徐々に低下して血糖値を下げる事が出来なくなり、糖尿病を招くこととなります。糖尿病になると血管が傷ついたり、詰まったりして動脈硬化や心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こしてしまいます。」とペットボトルに角砂糖が何個入っているか、生活が遺伝子を書き換える現象などを説明しながら、食育について熱心に講演されました。

生徒からは「ジュースの中にこんなに砂糖が入っているなんて知らなかった」、「昼食でこんなに塩分を取っていたの」、「今度から食品表示のラベルをきちんと見ます」などの感想があり、食事への関心が高まり、食育の目的を果たすことが出来ました。

当院では地域の未来を支える子供たちに食の知識を授け、自身の健康を守る力(予防医学)を学ぶ取り組みを行っています。

健康を守る
食の知識、
十代からしっかり。



高槻市防災訓練に参加しました 社会課長 濱田 健司

平成27年11月29日(日)大阪学院大学グランド(高槻市田能)で「高槻市防災訓練」が高槻市主催で実施され、医療チームの役割を果たすため今年も当院が参加しました。

今回の災害想定は大雨による土砂崩れやそれによる家屋の崩壊が起こり、取り残された住民が多数存在するというものです。消防隊員が救出した負傷者を、私たち救護班が限られたスタッフと医療器材で負傷者のトリアージ(負傷者が多数の場合、治療を行う優先順位を決める)を行い、最優先治療群から治療を開始し症状がある程度安定したところで搬送準備を整え、医療設備の整った後方病院へ消防隊が搬送するまでの一連の医療救護活動を行ないました。

日本赤十字社は、災害救助法で災害の際には、救援救護活動を行うことが定められており、当院の救護班も有事の際に活動できるよう、日々災害時の訓練や研修を行っています。



限られたスタッフと医療器材で、
最大効率の救援・救護活動を。



働くことの大切さ
楽しさを学んで
めざす夢へ



「職業体験学習」を実施しました

社会課 福崎 美恵子

当院では、例年、高槻市及び茨木市内の中学校が実施している「職業体験学習生」の受け入れを行っており、毎年多くの中学生がこの学習を通じて働くことの大切さや楽しさを学んでいます。

今回は、4校(10月29日～10月30日に高槻市立阿武山中学校、11月12日～11月13日に高槻市立柳川中学校、11月25日～11月26日に高槻市立第九中学校、11月26日～11月27日に高槻市立第四中学校)の生徒の合計7名が当院にて職業体験学習を行いました。

初めは緊張していた生徒さんも、学校では体験できないことや見たこともない経験をするにつれて徐々に笑顔になり、各部門(薬剤部、放射線科、検査部、リハビリテーション科等)の職員から話を聞く時の眼差しはとても真剣でした。

将来の目標として医師(脳外科医志望)と看護師になりたい生徒さんが5名もおられ、当院の職業体験学習で、その将来の夢に近づこうと一生懸命取り組みました。



キャンドルサービス

社会課長 濱田 健司

12月21日(月)夕刻からボランティア聖歌隊によるキャンドルサービスが始まりました。院内外の参加者が集結して消灯した各病棟を訪問、キャンドルの灯りが行く先を照らし、聖歌隊による讃美歌が流れ始めます。病室の前では歩幅を狭めながら患者さんの姿や優しい笑顔がキャンドルの灯で照らされ、入院生活の中で“ホッ”とするひと時を過ごしていただきました。

最後に、ボランティア聖歌隊に参加していただいた方、スタッフとしてお手伝いいただいた方、ありがとうございました。

冬季イルミネーション設置しました。

当院では2014年から冬の間だけ入退院玄関前の植込みにイルミネーションを設置しています。

患者さんやお見舞いに来られた方に楽しいひとときと温かい心を感じてもらえればと、病院の職員が手作り感溢れた飾りつけを行っています。

面会に来られた方からは「病院でイルミネーションが見られるなんて。すてきですね。」などの声が聞かれました。

素敵な冬の思い出の一つになればと願っています。

家庭で役立つ薬の話

正しく点眼できていますか？

薬剤部 佐藤 香純

点眼薬といえば、病院で処方される点眼薬もありますが、最近はドラッグストアなどでもたくさんの種類の点眼薬が販売されています。お子様からご年配の方まで、点眼薬を使用している方は多いのではないのでしょうか。

そんな点眼薬ですが、みなさんは正しく点眼できていますか？点眼のときに容器の先が眼やまつげに触れていませんか？たくさん滴下しすぎていませんか？点眼後、目をパチパチしてしまっていないですか？誤った点眼方法だと、十分な効果が得られないばかりか、眼の感染を引き起こすことがあります。ぜひ以下に示す点眼のポイントを確認してみてください。

①点眼前に手を洗うか、除菌シートで拭く。②指でまぶたの下を軽く引き、容器の先が眼に触れないようにして1滴点眼する(あっかんべー法)。手が震えてしまう方は、利き手と反対の手でまぶたの下でげんこつを作って台にし、容器を持った利き手を乗せて点眼する(げんこつ法)。③点眼後1分ほど目を閉じておく。④眼からあふれた分を清潔なティッシュなどでふき取る。⑤2種類以上の点眼を行う際には最低5分空ける。

より詳しくポイントを知りたい方は、当院の薬剤師にご相談ください。

平成27年度冬期 (2月～3月) 糖尿病教室のご案内

知らないうちに忍び寄る!こわ～い、こわ～い糖尿病。糖尿病患者さんが急増しています。その予防策とは!
糖尿病教室で糖尿病を知って正しい予防を。糖尿病食を体験してみませんか?
毎回、管理栄養士さんによる工夫をした献立で美味しくいただけます。
直接、管理栄養士さんにいろいろ聞く事もできます。

◎日時 冬期 2月～3月 11時～13時20分 (受付は10時30分から開始)

◎場所 当院3階 第一会議室・講義室 ※講師、テーマは予告なく変更する場合があります

(注1) 参加者多数の場合は、未受講者の方を優先させていただきます。(定員20名)

(注2) 受講を取り消される場合は、必ず一週間前までにご連絡ください。 ※お車で来院し受講される方は、駐車券をお持ちになってご来場ください。

時間	2月9日(火)	3月8日(火)
11:00～11:20	糖尿病とくすり 薬剤師	患者体験談 意見交換会
11:20～11:40	糖尿病の検査について 臨床検査技師	患者体験談を通して 糖尿病看護認定看護師
11:40～12:00	食事療法 2 管理栄養士	食事療法 3 管理栄養士
12:00～12:45	糖尿病食試食会	
12:45～13:00	休憩	
13:00～13:20	ミニ健康講座 糖尿病と運動 理学療法士	ミニ健康講座 糖尿病について 糖尿病・内分泌・生活習慣病科部長

主催：高槻赤十字病院

受講料：お食事代実費800円(税込)を当日に頂きます。つり銭のないようにご準備ください。

※申込書にご記入のうえ、医療社会事業部社会課までご持参下さるか、お電話にてお申込ください。

〒569-1096 高槻市阿武野1丁目1番1号 072-696-0571 (内線481番)

2015年10月
糖尿病教室より

おすすめ レシピ

- ・魚の揚げ物風
- ・季節野菜の汁物
- ・大根サラダ
- ・きのこの焼き浸し
- ・果物
- ・ご飯(110g)

材料(1人分)

<魚の揚げ物風>

メルルーサ	80g
塩	0.5g
胡椒	0.2g
パン粉	12g
小麦粉	6g
卵	10g
油	5g
レモン	5g
セルフィーユ	0.5g

<季節野菜の汁物>

白菜	50g
葱	5g
人参	10g
生椎茸	5g
白葱	20g
パイオン	1g
胡椒	適宜
中華だし	1g
水	150cc

<きのこの焼き浸し>

えのき茸	30g
舞茸	30g
えりんぎ	30g
生椎茸	10g
だし割ポン酢	5g

<果物>

柿	75g
紅葉	1枚

<大根サラダ>

サラダ菜	5g
大根	70g
ラディッシュ	5g
かつお節	1g
ノンオイル ドレッシング	10g

エネルギー	487kcal	脂質	8.9g
炭水化物	78.2g	塩分	2.4g
たんばく質	26.3g	食物繊維	9.4g

作り方 魚の揚げ物風

- ①フライパンに油を入れて温め、パン粉を加えて、焦がさないようにキツネ色に炒める。
- ②魚(メルルーサ)に塩、胡椒をする。
衣をつける(小麦粉→溶き卵→①のパン粉)
(※魚は身が薄い方が焼き上がりかパリパリします)
- ③②をオーブンで焼く(200℃ 6-10分または190℃ 9分30秒)
- ④レモンと香草(セルフィーユ)を添える

油をおさえて、
食物繊維
たっぷり。





きれいな空気と緑の安らぎをご提供します 「エコロジーガーデン」

当院では、院内緑化により患者さまにとって快適な空間を提供するため、外来待合などに「エコロジーガーデン」を設置しております。

「エコロジーガーデン」は、空気浄化能力の高い植物と特殊土壌を組み合わせることで、室内の空気の質を高めることができるもので、この導入により、患者さまにより一層の“癒しと安らぎ”の空間を提供していきたいと考えております。

なお、この「エコロジーガーデン」は、下記企業等のご協力のもとに維持運営を行っています。

<エコロジーガーデン協賛企業> (50音順)

- | | |
|------------------|----------------|
| (株)あい友社 | (株)ソフトウェア・サービス |
| 大阪神戸冷蔵(株) | 高槻交通(株) |
| (株)キンキ酸器 | 東ア建設(株) |
| グリーンホスピタルサプライ(株) | 東西化学産業(株) |
| (株)公益社 | (株)内藤建築事務所 |
| (株)幸蔵 | ナニワ商事(株) |
| 興和防災(株) | (株)播芳 |
| コーベベビー(株) | (株)ビケンテクノ |
| (株)国際興業大阪 | (株)マルヨシ |
| (株)コクミン | |



当院のフェイスブックをご覧ください。Facebookは病院ホームページ及び
URL:<https://www.facebook.com/takatsuki.rc.hosp>から閲覧出来ます。

高槻赤十字病院の理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神に基づき、高度で安全な医療を提供し、地域の人々が誇りにする病院となるよう努めます。

高槻赤十字病院の方針

1. 患者さまの人権と意思を尊重し、患者さま中心の医療をおこないます。
2. 一人ひとりの患者さまを全職員が支援する、チーム医療をおこないます。
3. 患者さまのホームドクターと緊密に連携し、地域で完結する医療をおこないます。
4. 常に向上心と研究心を持ち、最高最善の医療が実現できるように努めます。
5. 健全な病院経営と地域に貢献できる医療従事者の育成に努めます。
6. 災害救護活動をはじめとする赤十字に課せられた使命を果たします。



日本赤十字社 高槻赤十字病院
Japanese Red Cross Society

〒569-1096 大阪府高槻市阿武野1-1-1
TEL 072-696-0571(代表)
URL:<http://www.takatsuki.jrc.or.jp>
mail:trc@takatsuki.jrc.or.jp
発行責任者 事務部長 神谷 尚孝



人間ドック・健診施設機能評価認定施設